第19回 川崎国際環境技術展

Kawasaki Eco-Tech Fair Awards 2026

環境の未来につながる製品・サービスに、あなたの1票を。

次の評価基準を参考に、最も優れていると思う製品・サービス等を各部門から1つずつ選び、
投票用紙にご記入ください。

評価の視点:① 事業・取り組みの先進性・期待値　② 伝わりやすさ・アピール度　③ 環境への環境への貢献度(期待値含む)

投票:　11月11日(水)10:00～17:00 ｜ 展示会場出口付近の投票所へ、1人1枚投票してください

表彰式:11月12日(木)16:30～17:00 ｜ メインステージで実施します

投票いただいた方に、川崎市の横断幕からアップサイクルしたボトルマーカーを先着でプレゼント！

協賛:株式会社SKLO



ノミネート企業名　凡例　小間番号

製品・サービス等名

製品・サービス等説明

画像

エネルギー部門

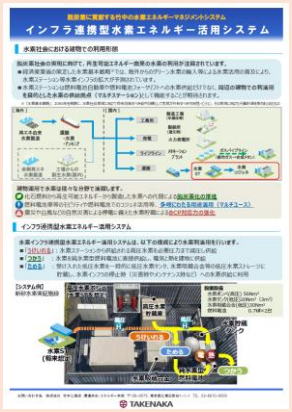
ノミネート企業は、会場マップの◆マークとブースのポップが目印です。
ぜひ出展ブースを訪れ、投票の参考にしてください。

株式会社竹中工務店

小間 B-03

インフラ連携型水素エネルギー活用システム

本応募は、マルチ水素ステーションを供給源とし、建物側に「受け入れ・低圧貯蔵・純水素型燃料電池による活用」を一体化したインフラ連携型水素供給モデルである。オンサイト前提の課題(敷地・初期費用等)を回避し、脱炭素、ピーク抑制、インフラ停止時の継続利用によるレジリエンス向上を両立する点に特徴がある。供給は水素ステーション、利用は建物という役割分担を明確にし、設計・運用の標準化、段階的な導入、補助金に依存しない運営方針の下で、環境・社会・経済の観点を同時に満たす仕組みとして事業性と横展開の再現性を確保し、都市や地域での実装に資する取組として位置付けられる。独創性を有する構成である。



株式会社GOURIKIコーポレーション

小間 B-14

SMARTDECK

老朽化した機械式駐車場を解体し、地下ピットに軽量鋼製の柱・梁と床板を組み上げて平面駐車場へ転換する鋼製平面化工法「SMART DECK(スマートデッキ)」。機械式駐車場は稼働の有無に関わらずモーターや油圧ポンプが電力を消費し続けますが、この設備そのものを撤去することで、駐車場運用に伴う電力消費を将来にわたり断つ画期的な工法です。軽量部材とボルト接合による短工期施工と自社一貫体制により高品質・低コストを両立し、柱・梁・床部の長寿命設計とあわせ、施工実績は4,500基を突破。さらに設置後のスペースにはEV充電設備の導入も可能となり、駐車場を脱炭素時代のインフラへと進化させます。全国で同様の課題を抱えるなか、電力に依存しない構造への転換と次世代インフラへの拡張性を兼ね備えた、エネルギー分野の環境技術として高い普及ポテンシャルを持つ特許取得製品です。



エネルギー部門

小間 D-04

エリーパワー株式会社

Power Storager GX

エリーパワーの「Power Storager GX」は、再生可能エネルギーの有効活用と事業継続を両立する産業用蓄電システムです。太陽光発電と連携して余剰電力を蓄え、需要に応じて活用することで、電力使用の平準化やピークカットを実現し、CO_2排出量の削減に貢献します。また、停電時には非常用電源として電力供給を継続し、工場や物流施設、公共施設の事業継続を支援します。蓄電池には安全性・耐久性に優れたリン酸鉄リチウムイオン電池を採用し、国内の自社工場（川崎市）で開発・製造。平時は脱炭素、非常時はレジリエンス向上に貢献するエネルギーインフラとして、持続可能な社会の実現を支えます。



小間 D-05

共同開発グループ エンバイロン. 企画 / 一般社団法人 Green Earth Again

液体活性化器具『工雅』 同装置『工雅 循環』

永久磁石とアルミ丸棒を樹脂に組み込み、凝集して流れている液体を細分化し、液体を活性化することを目指した器具および応用装置である。添加物は用いていない。細分化された液体は化学反応速度、浸透力、溶解力が向上する。例えば、ディーゼル燃料を処理した場合、20%前後の燃費改善を観ている。これは燃焼が良好に行われていることを示している。良好な燃焼が得られれば、排気ガスの良化を得られ、減少した燃料分の排気も減少する。これらにより、環境への寄与と経費の節減に供したい。特許第7774926号として令和7年に特許査定を得ている。



小間 E-08

【川崎ものづくりブランド推進協議会】

株式会社クリエイティブテクノロジー

ESCLEAN

「ESCLEAN」は、静電吸着技術を活用したクリーンルーム向けのクリーニングデバイスです。ファンを使用しないため排気はゼロで、ほこりを舞い上げることなく静かに清掃できます。コンパクトで持ち運びやすく、フィルター洗浄や分解作業が不要なシンプル構造を採用しており、メンテナンスの手間を軽減します。1回の充電で最大10時間連続使用でき、製造現場の日常清掃を効率化します。



カーボンニュートラル部門

小間 A-09

株式会社クレハ環境

カーボンニュートラルに取り組む産業廃棄物処理サービス

弊社の産業廃棄物処理施設【ウェステックかながわ】では産業廃棄物の適正処理と焼却廃熱を活用した発電を行っています。新たなボイラークリーニング技術の導入や蒸気タービンの特性変更などにより発電量を向上させ、余剰電力を非化石電源由来の電力として供給することで地域のカーボンニュートラルに貢献しています。また、施設内の省エネやクリーンなエネルギーの利用を進めるとともに、廃熱未回収時に発生するCO2をクレジットでカーボンオフセットすることにより、2025年度の調整後CO2排出量ゼロを達成しました。今年度は、廃棄物焼却由来のCO2を削減することを目的に小型CO2分離回収試験装置を設置し実証試験を開始します。既存の産業廃棄物処理施設の強みを活かし、持続可能な未来へアプローチしてまいります。



小間 A-10

工学院大学 金熙濬 研究室

海洋肥料

本海洋肥料は、海水中で最も不足している栄養塩であるリン(P)を安定的に供給するために開発された海洋専用肥料です。内部にまれて含まれているリン酸(PO_4)成分を長期間徐々に放出できる仕組みを備えており、海水中の自然濃度より数十倍～数千倍の高濃度リン酸を維持しながら、数ヶ月～数年間にわたり継続的に供給します。これにより、海藻類の成長に必要なリンを安定的に提供できます。従来の水溶性肥料が海水中で流出しやすい点や、ク溶性肥料が海水に溶けず効果が得られない課題を解決しています。原料には自然素材の粘土を焼成したセラミック基材を使用し、形状の自由度が高く、海洋環境を汚染しない点も特徴です。また、リン成分には汚泥焼却灰から回収したリンを利用しており、資源循環に貢献する環境配慮型の肥料です。



小間 A-18

株式会社ミーバイオ

mii-Bioprocess(バイオ半導体材料)

「バイオ半導体材料を世界に」mii-Bioprocessは、微生物の代謝を光で制御する独自のバイオものづくり生産システム。従来バイオでは作りにくかった化学品を、低コストで生産することを実現します。原料はサトウキビなどから取れる糖源と微生物だけ。石油(ナフサ)に一切頼らず、炭素の100%を植物由来のバイオマスから調達します。石油化学コンビナートを前提としない、まったく新しい化学品の作り方です。特に我々が注力しているバイオ化学品は、半導体並びにその周辺を支える素材に使用される高機能樹脂原材料(芳香族モノマー)です。原油価格にも地政学リスクにも左右されない供給源として、国家重要戦略物資ともいえる半導体関連材料を製造されるお客様(化学メーカー様／製造業様)の、原材料調達サプライチェーンの強靭化と脱炭素、そして国の経済安全保障強化を同時に実現します。



カーボンニュートラル部門

小間 B-21

株式会社 kinoiro

「街路樹等アップサイクルプロジェクト」

「街路樹等アップサイクルプロジェクト」は、川崎市の民間提案制度（フリー型）認定プロジェクトです。剪定・伐採された街路樹等を廃棄・焼却せず地域資源として捉え、回収から製材・乾燥・企画・加工までをつなぎ、表彰楯や記念品、ノベルティ等として地域で再活用します。木材を製品として長く使うことで炭素を固定し、焼却に伴うCO_2排出の抑制にも貢献。さらに、市内イベントで川崎の街路樹を使ったワークショップや展示を行い、市民が地域の木に触れ、その背景や循環を知る機会を創出しています。行政・企業・市民と連携し、「伐採されたら廃棄」から「地域で活かし、使い続ける」へ。都市における木材循環の仕組みづくりを実践するプロジェクトです。



小間 C-04

株式会社エノア

再エネ水素蓄電システム

太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発生した余剰電力を用い、水電解装置により水素として製造・貯蔵。電力需要が高まる時間帯や停電時に、燃料電池を用いて高効率に再発電を行う持続可能なクリーンエネルギーシステム。従来のバッテリー蓄電と異なり、水素による長期かつ大容量のエネルギー保存を実現。燃料電池・水電解技術および独自のEMSを組み合わせることで、エネルギー損失を最小限に抑え、地域の脱炭素化と災害時のレジリエンス強化に貢献する。



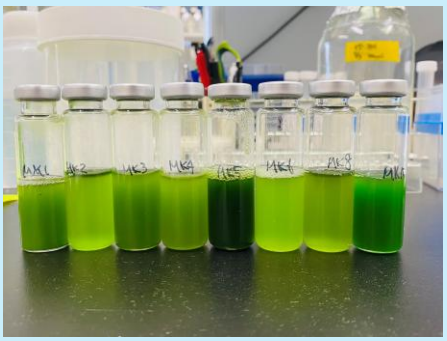
小間 F-08

【川崎市公募型環境分野技術・サービス等開発委託事業（KETCHAP）】

株式会社シアノロジー

川崎発の微細藻類ライブラリー

株式会社シアノロジーでは、川崎市内を中心に環境中から採取・単離した微細藻類のライブラリーを構築しています。微細藻類は、二酸化炭素固定、排水処理、バイオマス生産、有用物質生産など、環境・バイオ分野における多様な可能性を持つ生物資源です。一方、その性質は株ごとに大きく異なるため、目的に適した微細藻類を見つけることが技術開発の重要な第一歩となります。シアノロジーでは、川崎市から得られた微細藻類を「川崎発の生物資源」として収集・保存し、研究開発に利用できる種株として提供しています。また、この微細藻類ライブラリーを用いて、下記の受託試験も可能です。〇自社製品・化合物が、藻類培養担体、凝集剤、殺藻剤として利用できるか？ 〇自社から排出される排水の処理に微細藻類が利用できるか？ 〇自社の分析・光学機器が、微細藻類研究に応用できるか？



カーボンニュートラル部門

小間 F-08

【川崎市公募型環境分野技術・サービス等開発委託事業(KETCHAP)】

Drive Electro Technology株式会社

電動化バス・トラック

Drive Electro Technologyは、既存のディーゼルバス・小型トラックをEVへ改造する車両技術を核に、90kW超急速充電器、パンタグラフ充電システム、車載電池を再利用した定置型蓄電システム(ESS)まで一体で開発・提供します。短時間充電による商用EVの高稼働化と、車載電池の再利用による資源循環を組み合わせ、「車両・充電・蓄電」を一つのシステムとして提供する商用EVプラットフォームです。



小間 F-24

【かわさき水ビジネスネットワーク】

日本ミクニヤ株式会社

MISHIMAX

ミシマックス® は常在菌による高温好気発酵技術を利用し、有機性廃棄物を24 時間で約90% 減容化する画期的な装置です。自然に生息している菌体でごみを発酵分解する仕様のため、常在菌が住む場所ならどこでも稼働可能。極寒地などの極地を除き、ほぼ世界中の国や地域で利用できます。装置の品質・性能に関しては公設試験場等における検査や保有装置による実証実験を行い、様々な温度環境での稼働実験においてもその耐久性を確かなものとしています。現在、食堂や飲食店などの小規模事業者さまや食品加工工場、畜産農場、水処理施設といった中規模・大規模事業者さままで幅広いニーズにお応えしています。



小間 F-26

【国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

モビリティエナジーサーキュレーション株式会社

車載用超小型軽量ORC発電システム

トラックのエンジン冷却水を利用して発電、蓄電して冷凍冷蔵車の燃費改善とCO2削減、廃熱の減少を行うシステムです。船舶など他の移動体への転用も可能です。



サーキュラーエコノミー部門

小間 A-06

株式会社山善

リサイクル衣料不燃建材　リケボ

廃棄される衣料品をリサイクルした圧縮ボードを防炎化および不燃化し、公共の建築物へアップサイクル出来るリサイクル内装建材にしました。サイズは910X1820で厚みは2・3・5mmがあります。床材向けのリケボは艶有と艶無しの2種類。壁材や天井材向けのリケボはガラス繊維加工とモルタル加工の2種類があります。他のリサイクル建材と比べて軽く、加工性が優れています。



小間 A-14

株式会社SKLO（ PRODUCT BASE SKLO ）

Design Upcycle ―廃材の背景を新たな価値に変えるものづくり―

「Design Upcycle」は、横断幕・ターポリン、スポーツボール、リングマットなど廃棄予定の素材と革素材を組み合わせ、素材の背景やデザインを生かした商品・装飾・体験へと再生するSKLOの取り組みです。革製品製造の技術を軸に、素材の検証、企画、デザイン、試作、製造、ワークショップまでを自社で一貫して行います。企業・自治体・学校・スポーツチームと連携し、販売商品やノベルティ、環境教育などへ展開。ターポリンを用いた製品では、新規素材から製作する場合と比較してCO_2排出量を約98％削減しました。掲載動画は、廃棄予定の横断幕を風車へ再生し、地域参加型の装飾・環境体験へ発展させた事例です。



小間 A-16

レコテック株式会社

資源循環データインフラ　pool

『pool』は、高度な資源循環（サーキュラーエコノミー）を実現するトレーサビリティ・プラットフォーム（Waste OS）です。 従来は紙伝票やアナログ管理に依存していた廃棄物・リサイクルのプロセスにおいて、排出現場への計量器・端末の設置により、発生量・品目・リサイクル状況・CO2削減量をクラウド上で リアルタイムに可視化・データ化します。 最大の特長は、排出事業者（商業施設・自治体等）から収集運搬業者、リサイクル処理工場、再生素材を活用する製造メーカーまで、静脈・動脈のサプライチェーン全体をデータでシームレスにつなぐ点です。トレーサビリティの確保により、透明性の高い再資源化スキームの構築とScope3対応を支援。動脈・静脈企業間の共創を加速させ、持続可能な資源循環社会の形成とCO2排出削減に貢献します。



サーキュラーエコノミー部門

小間 A-18

株式会社ファッションクロスフルシマ

アップサイクルプラットフォーム「e junkan」

「捨てる」を「新たな価値」へ。衣料品の廃棄を減らし、環境保護と利益創出が両立する「新しい循環型社会」の実現へ。大量生産の裏で積み重なる在庫や不良品による廃棄コストは、アパレル業界の深刻な悩みです。世界的なサステナブル推進により、企業には「捨てない責任」が強く求められています。そこで私たちが提案するのが、捨てていたものを新しく生まれ変わらせる『e junkan』です。長年にわたり培ってきた自社の検品・補修技術と専門業者ネットワークを融合し、単なるお直しにとどまらず、染色やリメイク等のアップサイクルを施し、商品の価値やデザインを刷新します。事業者の方々には「公認中古」や「来店動機となるイベント」などの企画提案から加工、物流管理までワンストップで伴走。一般消費者の方々にも利用可能に展開し、企業と個人の双方で、簡単に衣類をアレンジ、アップサイクルできる場所を提供します。



小間 B-11

川崎市ビルメンテナンス業協同組合

カーペットリセット施工

カーペットリセット施工はカーペットを専用のマシンに入れ、汚れを洗い流す清掃方法です。新品に張り替えず、リユースするため、廃棄物削減とCO2削減で地球環境保護に貢献します。



小間 C-16

水戸工業株式会社

浄油装置『レコンドオイル・ボックス』

工業用オイル（作動油や潤滑油など）に含まれるナノサイズまでのあらゆる種類の汚染物質を除去するオフラインの浄油装置です。CO_2排出量の削減、オイル購入費の削減並びに、機械の稼働率の向上を目的に販売を強化しています。



サーキュラーエコノミー部門

小間 E-08

【川崎ものづくりブランド推進協議会】

株式会社データープロセスサービス

打刻ちゃんTouch2022

打刻ちゃんTouch2022は、「PASMO」「Suica」等のICカードをかざすだけで、出退勤・外出・戻りを記録できる勤怠管理システムです。従来の紙のタイムカードをデジタル化することで、タイムカード用紙の使用・保管・廃棄を削減し、日々の勤怠管理をより環境負荷の少ない仕組みに変えます。さらに、打刻記録の確認や従業員情報の管理、給与ソフトとの連携にも対応し、業務効率化にも貢献。中小企業が継続的に導入しやすい価格を実現し、シリーズ累計4,000ライセンスを突破しています。顔認証オプションによるなりすまし防止にも対応し、紙に頼らない持続可能な勤怠管理を実現します。



小間 E-08

【川崎ものづくりブランド推進協議会】

sanodesign/佐野デザイン事務所

デザイン緩衝材「クッションサンシリーズ」

デザイン緩衝材「クッションサン」シリーズおよび「リーヴスティー」は、本来は使い捨てとして役目を終える緩衝材や未利用素材に、デザインによって新たな機能と愛着を与え、「捨てるもの」から「捨てたくない、繰り返し使いたくなるもの」へ価値転換したプロダクトです。素材の特性を活かし、使う楽しさや見せたくなる魅力を加えることで製品寿命を延ばし、廃棄そのものを減らす循環を提案しています。「クッションサンシリーズ」は約10年間で数十万個の販売実績があり、現在は大手化粧品会社の公式梱包材にも採用されています。環境配慮を我慢や制約として捉えるのではなく、デザインによって生活価値へ変換し、廃棄を減らしながら新たな循環を生み出すことを目指しています。レジ袋有料化などによる環境意識の高まりやEC市場の拡大を背景に需要も広がっており、今後も新たなデザイン展開を通じて、循環型プロダクトのさらなる普及を目指しています。



小間 E-21

株式会社グリッドリンクス

Grid Office（グリッドオフィス）

Grid Officeは、中小企業の事務をAIのチームが回す仕組みです。当社は家具家電のサブスクレンタルとリユースを手がける事業者で、その裏方――商品の登録、価格の決定、在庫と配達の段取り、請求と入金の照合――を自社でAI化して日々運用しています。リユースは一点物を一件ずつ扱うため、取扱量を増やすほど事務が増え、人手が先に足りなくなります。Grid Officeはこの事務を担い、人を増やさずに循環させる量を増やします。会場では、動く画面をお見せしながら、実際の進め方と、導入した企業が自社で作り替えていく道筋をご説明します。

